これ[illegible]と思いお願いしたのですが、どうやら修理工場が依頼したリペアショップでは直せないということでした。

私も乗り続ける気でいたので、自分でもコンピュータをリペアしてくれるショップを探し、連絡しました。すると、対応してくれるショップが見つかりコンピュータを送付。1週間ほど経ってから連絡があったのですが、直せないと言われるものもあるとか。基板を見ただけでは分からないのですが、その内部には電気の通路が張り巡らされていて、それがダメになるケースがあるようです。コンピュータを開けてしまうと、工賃が発生することもあり、ダメ元で依頼することもあると、そのメカニックは言っていました。

いずれにしても、100万円以上の出費となるとさすがに乗り替えるしかない

"直す"という決断の決め手は？

「メカニックからのアドバイスがあったからこそ修理を決断できた」

修理費用が高額になると躊躇してしまうのは当然。今回のケースでは100万円以上の出費なので、メカニックからのアドバイスがなければ乗り替えていたかもしれない。こういった現物修理はコンピュータ以外にもいろいろとある。

クルマの頭脳とも言えるメインのコンピュータ。燃料の噴射量や横滑り防止装置などを制御する**重要なパーツ**である。それゆえ、新品は非常に高価。

エンジンヘッドと腰下と呼ばれるシリンダーヘッドの間に備わっているのがヘッドガスケット。ここからの漏れを放置すると大きなトラブルに繋がってしまう。

入念な洗浄とバルブやバルブに備わるシールなど消耗品の交換、ヘッドの面を平らにする面研などの加工をすることがオーバーホールの主なメニュー。

5

毎月郵送でお届けしています。

テックプラス9月号